

Angkor Cookies INTERNSHIP



■参加コース

アンコールクッキーインターンシップ 6日間



(2014年夏 株式会社ピース・イン・ツアー 企画・実施)

■本日のインタビュアー

河輪 三奈美 様

現在社会人。3回目のカンボジアで、初めての海外インターンシップ。
以前弊社のカンボジア・ボランティアプログラムにご参加。
(カンボジア シェムリアップ「体育を教える活動」等々)
社会保険労務士を目指している。



2014年9月出発の「カンボジア・アンコールクッキーインターンシップ」に参加された河輪 三奈美さんにインタビューしました。

「ご縁があった国を大切にしたい！」

そう語ってくれたのは、弊社カンボジアプログラムに参加するのが3回目の河輪さん。現在は社会人で、社会保険労務士を目指しているとのこと。今回のインターンプログラムでは、経営者と労働者の両方から話を聞いた点が良かったとのこと。今回のインターンでどんなことを経験し、得ることができたのか聞いてみました。

ーインターンシップの内容はどうでしたか？

日本のカフェのアルバイトのような作業が多かったです。作業面で「難しすぎて出来ない！」ということはまずありません。大学生なら誰でも参加できます。そこで「何を学ぶか」「何を得たいのか」は、参加者それぞれだと思います。行く前は「英語力ってどのぐらい必要なのだろう？」というところにおびえていましたね(笑)。私は英検も持っていませんし、挨拶と義務教育程度の英語知識でしたが、なんとか過ごせました。工場の説明はすべて英語ですし、急ぎよ参加させてもらった社内ミーティングは英語とクメール語で進むので、なんとするしかなかったです(笑)。貴重な体験でした！

アンコール クッキー社

《創立》

2004年4月

《創立者》

マダム幸子さん

《店舗数》

3office・2shop

《スタッフ数》

90名



なぜ「カンボジア・アンコールクッキーインターナショナル」を選んだの？

きっかけは、ピース・イン・ツアーから届いたツアー紹介のメールです。現在、中小企業と関わる仕事をしているので、海外の会社も覗いてみたいな、と。社会保険労務士を目指しているということもあり、自分の興味とツアー内容が一致

していた為、参加を決めました。
—実際はどんな仕事内容をするのですか？

1日目は「アンコールクッキー」の店舗で過ごしました。スタッフの皆さんに挨拶をして、朝礼に参加。その後はお昼まで代表取締役・小林幸子（マダムサチコ）さんとお話をしました。午後は、クッキーの裏にラベルを貼ったり、洗い物をしたりしました。

2日目は工場に伺いました。午前中は工場見学で、工場の方が英語を使って説明をしてくれました。午後はクッキー容器組み立て等の作業を体験しました。新商品開発のミーティングにも参加、アウトプットの機会もありました。

3日目はお店に戻って、接客が中心でした。「アンコールクッキー」に来店するお客様は**9割方が日本人**なので、言語に困ることはありませんでした。稀に韓国、欧米の方々がいっぱいいますが、ツアーの場合は添乗員さんがついているので、**簡単な英会話が出来れば問題ありません**でした。

今回のインターナショナルで良かった点は、**カンボジア人のスタッフとコミュニケーションがとれたこと**ですね。作業自体は簡単ですが、それでもひとつひとつ確認しながら進めますから。業務に関することだけではなくて、何気ない会話も大切。「あなた何歳？」「26

歳だよ」「へえ、私もだよ！同い年だね！」なんていう会話が少しでもできると、お互いに仕事しやすいなあと実感しました！

—新商品開発ミーティングではどのようなことを？

急遽、商品開発のミーティングに参加させていただきました。

メンバーは5名。マダム幸子さん、工場長（カンボジア人）、デザイナー（カンボジア人）、私達インターナショナル生2名でした。議題は「新商品のパッケージのデザイナー」。ミーティングは英語。最初は聞き取れなくても伝えられずにいたので、開始3分でサチコさんに怒られました。「わかっていないなら質問して！」って。

その後はどんどん聞くようにしました。おかげで何回もミーティングを止めてしまいました。でも、企業側としても、理解されていない状態で進めるよりよっぽどいいんですよ。これは日本でもそうですが、「**わからないのが悪いのではなく、「行動しない」「言葉にしない」「表さない」ことが問題なんだ**なあと。英語力がどうこう以前の問題ですよ。幸子さんから学んだことのひとつです。

意見は遠慮なく発言させて貰いました。英語は小学生みたいな単語でしたけどね。「I THINK」と「BECAUSE」ばかり使っていました(笑)。





▲店内の様子

—今回のインタビューで一番学んだことはなんですか？

カンボジアで実際に労働環境を体験できたことです。私が保険労務士を目指しているのですが、そこに興味があったというのが大きいですね。経営者と従業員の両方から話が聞くことができたのが良かったです。経営者のマダム幸子さん、管理職の工場長やチーフ陣、ショップや工

房の従業員。それぞれの立場の方と話をすることができました。これは貴重な経験になりましたね。従業員の中でも、ショップで数年働いていて日本語がわかる方もいれば、村から来たばかりで、まだ字が読めない方もいる。それぞれの目から見た「アンコールクッキー」という会社を知ることができました。

通常のインタビューシップでは、採用担当者と話す機会はありませんが、従業員の多角的な意見を聞くのはなかなか難しいイメージがあります。海外企業で多角的に話が聞ける、という機会は貴重でした。

最後の、参加者にメッセージをお願いいたします！
「自分の興味」を
ひとつ持って行きましょう！
せっかくの「海外で働く」という機会ですから。自分が何に興味があるのか、なぜ参加したいと思ったのか、という興味を大切にして欲しいです。例えば、「どうやってクッキーを作っているのだろう？」という興味があれば、商品製造の観点で見ますよね。「カンボジアのお店ってきれいなのかな？」と思ったのなら、衛生管理を見ると思います。私の場合は「どんな条件で働いているんだろう？」という労働条件や労務管理に興味があったわけです。なんで参加しようと思ったか、ということをお大切にすると、充実したインタビューシップになると思います。難しく考えず、「なんで来たの？」って質問されたら答えられるようにしておけばいいだけです。受け入れ先の企業は気になりますよね、きっと。実際に「なんでうちにインタビューシップにきたの？」って聞かれましたよ(笑)。

◀インタビューの様子



実際にいってみよう！！

カンボジアのお土産としてとても有名となったアンコールクッキー！シエムリアップにお越しの皆様♪是非お立ち寄りくださいませ。

シエムリップ オフィス

《住所》 On the main road to Angkor Wat, in front of Sofitel Hotel, Siem Reap, Kingdom of CAMBODIA

《営業時間》 9:00~19:00

《電話》 (+855) (0)12 315 804 / (+855) (0)63 964 770

《メール》 info@angkorcookies.com

《HP》 www.angkorcookies.com

《フェイスブック》 <http://www.facebook.com/angkorcookies>

ご協力ありがとうございました！

